

第33回 PFF ぴあフィルムフェスティバル  
PIA FILM FESTIVAL

2011年9月20日(火) → 30日(金)

東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール (月曜休館)

# PFF PIA FILM FESTIVAL TOKYO



主催: PFFパートナーズ **ぴあ** ホリプロ / **UNI/JAPAN** 公益財団法人ユニジャパン

共催: **N** **F** **C** 東京国立近代美術館フィルムセンター

特別助成: 一般社団法人 映画演劇文化協会

後援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 / NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会

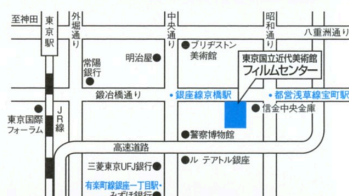
特別協賛: **SEGA-SAMMY** GROUP 協賛: (財) 本庄国際リサーチパーク研究推進機構 協力: 早稲田大学

CoFesta 2011 <http://pff.jp/>

## ACCESS

東京メトロ銀座線  
「京橋駅」1番出口より  
昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線  
「宝町駅」A4出口より  
中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線  
「銀座一丁目駅」  
7番出口より徒歩5分  
JR「東京駅」  
八重洲南口より徒歩10分

住所: 東京都中央区京橋3-7-6





## 日本映画最新17作品一挙公開!

### PFF AWARD 2011

上映後、来場監督との  
トークを予定しています。

602作品の中から選ばれた17作品をご覧ください。監督の平均年齢は26歳という若さです。

今の日本、世界が、これらヴィヴィッドな作品から強く迫ってくる必見作ばかり!

※監督の年齢は応募時のものです。

**D** 9月24日[土] 11:00—/28日[水] 11:00—

#### 『untitled』

(19分/カラー)



天涯孤独の心情を  
詩的に綴る

ひとりで休日過ごす女の子の1日。瑞々しい映像の19分間で浮き彫りになる彼女の想いに、胸を衝かれる。

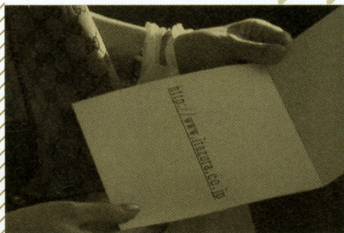
岩永 洋  
25歳  
東京都出身



**E** 9月24日[土] 14:30—/27日[火] 14:30—

#### 『101』

(30分/カラー)



いつも誰かに  
見られている恐怖

これぞ暗黒「ドラえもん」。すこしふしぎなデジタル機器が人の心の後ろ暗さを剥き出しにするワンルームSF。

酒巻大樹  
24歳  
長野県出身



**C** 9月23日[金・祝] 11:00—/29日[木] 14:30—

#### 『オードリー』

(67分/カラー)



地方の女子高生の  
リアルな青春

女子高生・優子の、恋に友達に文化祭。素直さと開き直り、憧れとひねくれを堂々と貫いた、女子高生ものの一つの到達点。

勝又 悠  
29歳  
神奈川県出身



**A** 9月22日[木] 11:00—/28日[水] 18:15—

#### 『偶像讃歌』

(35分/カラー)



他者に冷淡な  
青春の姿を活写

もう子供じゃない、まだ大人ではない『私』。どこか空虚な高校生活で『リアル』への手触りを模索した、ある夏の記憶。

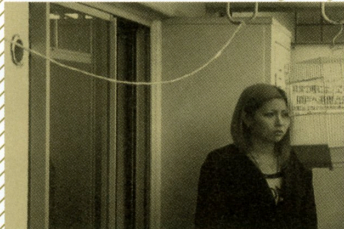
和田 彩  
22歳  
東京都出身



**F** 9月25日[日] 11:00—/29日[木] 11:00—

#### 『ケージ』

(57分/カラー)



貧困のスパイラルを  
生きること

東京の東側、取り壊し間近の団地。高度経済成長が現在に遺した影を淡々と描く、裏面の東京物語。

石井慎吾  
27歳  
東京都出身



**F** 9月25日[日] 11:00—/29日[木] 11:00—

#### 『春夏秋冬くるぐる』

(45分/カラー)



戻らない、  
かけがえのない毎日

ポロアパートに暮らす大学生と仲間との、ささやかな愛すべき日常。卒業を控え、それぞれに決意をしていく。

日原進太郎  
31歳  
大阪府出身



**H** 9月25日[日] 18:00—/28日[水] 14:30—

#### 『☆ (TAITO)』

(70分/カラー)



同僚の自殺で  
炙り出される内奥

典型的な正義と悪の境界で漂うだけに終わらず、本物の邪悪と醜悪を見逃すな! その正義は『善』なのか? 『悪』はどこだ?

緑朗  
27歳  
愛知県出身



**H** 9月25日[日] 18:00—/28日[水] 14:30—

#### 『ダムライフ』

(84分/カラー)



狂気と失笑と  
悲しみのダム、決壊す

虐げられた究極のイエスマンの暴走が止まらない! 人の心を逆撫でするハネケの(?)アプローチが賛否を呼ぶ問題作。

北川 仁  
29歳  
東京都出身





F 9月25日[日] 11:00—/29日[木] 11:00—

『チョッキン堪忍袋』

(33分/カラー)



変形した愛を  
コミカルに描く

若き女性監督の異能が弾ける限界ギリギリの兄妹愛物語。許されない、でも断ち切れない。この想いの終着駅は？

天野千尋  
28歳  
愛知県出身



E 9月24日[土] 14:30—/27日[火] 14:30—

『チルドレン』

(108分/カラー)



親がだめなほど  
子は成長する

親の人間の脆弱さに直面したとき、思春期の子がとるべき最善策とは？ 家族幻想を超える瞬間が心を打つ青春映画。

武田真悟  
24歳  
愛知県出身



B 9月22日[木] 14:15—/27日[火] 18:00—

『ニュータウンの青春』

(95分/カラー)



大好きだった  
仲間との愛しき日々

団地・自転車・童貞——青春三大アイテムを軸に、定番のテーマを飽きさせずに物語る手腕はすでに、プロの域。

森岡 龍  
23歳  
東京都出身



A 9月22日[木] 11:00—/28日[水] 18:15—

『パッション』

(92分/カラー)



迫真の演技に  
戦慄が走る

これほど心揺さぶる家族の話がかつてあったか。愛情飢餓ゆえ切実に生きざるを得ない男の受難を、重厚な作劇で描く。

南部充俊  
34歳  
神奈川県出身



D 9月24日[土] 11:00—/28日[水] 11:00—

『反芻』

(117分/カラー)



観客をも試す  
映画の実験

女の子1人と男の子2人。大事・どーでもいい・うそ・ほんと、あやふやな意識の差異にひそむブラックホール

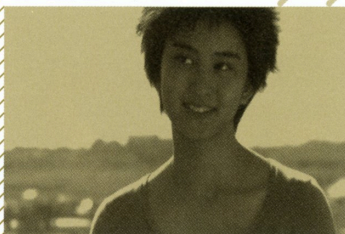
狩野嵩大  
24歳  
群馬県出身



B 9月22日[木] 14:15—/27日[火] 18:00—

『PICARO』

(40分/カラー)



虐待を生き延びた  
兄妹の今に光を

絶望的な悲劇の底から生選した兄と妹。精緻な風景描写と演者の魅力に圧倒される、静かな再生の物語。

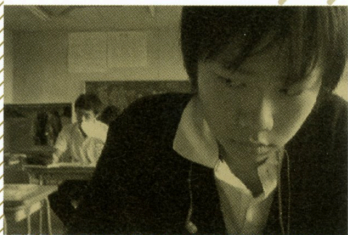
野上鉄晃  
28歳  
長崎県出身



C 9月23日[金・祝] 11:00—/29日[木] 14:30—

『僕らの未来』

(75分/カラー)



私が私であることの  
勇気と光明

高校生の優は性同一性障害に苦しんでいた。困難な現実をどう受け止めるのか。主人公の選択に心が揺さぶられる。

飯塚花笑  
20歳  
群馬県出身



G 9月25日[日] 14:30—/27日[火] 11:00—

『山犬』

(61分/カラー)



人間心理の  
暗闇に分け入る

疑心暗鬼が渦巻く森で一体何が起こったのか？ 大胆で緻密な構成が、観るものの思考に巧みに揺さぶりをかける。

佐藤孝太郎  
22歳  
埼玉県出身



G 9月25日[日] 14:30—/27日[火] 11:00—

『Recreation』

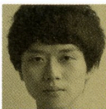
(78分/カラー)



高校生の夏、  
浸潤する不穏な熱気

盗撮から始まり衝撃の結末を迎えるこの映画。何かが起こらないわけがない、突き刺すような緊張感が全編を支配する。

永野義弘  
22歳  
福岡県出身



「PFFアワード2011各賞」

グランプリ(副賞100万円)、準グランプリ(副賞20万円)、  
審査員特別賞(副賞10万円/3作品)、  
映画ファン賞(びあ映画生活賞)、エンタテインメント賞(ホリプロ賞)

※各賞とも豪華副賞

グランプリ作品は、第24回東京国際映画祭  
「日本映画・ある視点」部門にて招待上映されます。

表彰式&グランプリ作品上映 → 9月30日[金] 16:30～

最終審査員 阿部秀司(プロデューサー) 塚本晋也(映画監督)  
南果歩(女優) 瀬々敬久(映画監督) 瑛太(俳優)



# TIME TABLE

★…ゲスト来場予定。開場は開演時間の15分前を予定。

お問い合わせ: PFF事務局 03-5774-5296 <http://pff.jp/>  
 ※PFFアワード監督の来場予定およびゲスト来場の追加情報は随時HPで発表します  
 ※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合がございます。  
 ※全プログラムとも、録画・録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。

10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00

9.20 [火]		12:00 ルビッチでハッピー! 『陽気な中尉さん』	14:00 ルビッチでハッピー! 特別上映『限りなき舗道』 『陽気な巴里っ子』			18:00 特別プレビュー 石井裕也監督最新作 『ハラがコレなんで』★				
9.21 [水]		12:00 タル・ペーラに痺れる 『サタンタンゴ』								
9.22 [木]	11:00 PFFアワードA★ 『パッション』 『偶像讃歌』		14:15 PFFアワードB★ 『ニュータウンの青春』 『PICARO』			17:30 塚本晋也、「何がなんでも黒澤明!」★ 参考上映作品『七人の侍』				
9.23 [金・祝]	11:00 PFFアワードC★ 『僕らの未来』 『オーダー』		14:30 岩井俊二、長谷川和彦に 映画を聞く!★ 『映画監督とは、映画製作とは』 参考上映作品『青春の蹉跎』			17:30 『太陽を盗んだ男』を観て、 長谷川和彦に聞く!★				
9.24 [土]	11:00 PFFアワードD★ 『反芻』 『untitled』		14:30 PFFアワードE★ 『チルドレン』 『101』 15:00 地階小ホールにて「カルトブランシュ」開催。「男と女」のテーマのもと、河瀬直美監督の選ぶ 『生きてるうちが花なのよ死んだらそれまでよ克置君』を上映。聞き手:木下雄介監督			18:00 黒沢清、廣原暁に個人レッスンする!★ 『映画に風景をどう撮るか』 参考上映作品『シェイディー・グローヴ』				
9.25 [日]	11:00 PFFアワードF★ 『ケージ』 『春夏秋冬くるくる』 『チョッキン堪忍袋』		14:30 PFFアワードG★ 『Recreation』 『山犬』			18:00 PFFアワードH★ 『ダムライフ』 『☆(TAITO)』				
9.26 [月]	休 館									
9.27 [火]	11:00 PFFアワードG★ 『Recreation』 『山犬』		14:30 PFFアワードE★ 『チルドレン』 『101』			18:00 PFFアワードB★ 『ニュータウンの青春』 『PICARO』				
9.28 [水]	11:00 PFFアワードD★ 『反芻』 『untitled』		14:30 PFFアワードH★ 『ダムライフ』 『☆(TAITO)』			18:15 PFFアワードA★ 『パッション』 『偶像讃歌』				
9.29 [木]	11:00 PFFアワードF★ 『ケージ』 『春夏秋冬くるくる』 『チョッキン堪忍袋』		14:30 PFFアワードC★ 『僕らの未来』 『オーダー』			18:30 第21回PFFスカラシップ作品 お披露目★ 『恋に至る病』				
9.30 [金]						16:30 PFFアワード2011表彰式 グランプリ作品上映				

## 入場料一覧

お得で安心な前売券のご購入をおすすめします。  
 前売券はチケットぴあでのみ発売です。フィルムセンター窓口での前売券販売はございません。

8月20日[土]  
発売開始

全席指定制  
定員310名

## コンペティション部門

### 「PFFアワード2011」専用チケット (Pコード: 558-323)

前売券: 1,000円 当日券 一般: 1,200円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,100円  
 小・中学生: 800円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 950円

## 「PFFアワード2011」

### 表彰式&グランプリ 上映チケット (Pコード: 558-324)

前売券: 1,000円 当日券 一般: 1,200円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,100円  
 小・中学生: 800円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 950円

[前売券の購入方法] ※フィルムセンター窓口での販売はございません。

- お近くのチケットぴあのお店(店舗の検索はこちら [http://ticket-search.pia.jp/pia/spst/spst\\_map01.do](http://ticket-search.pia.jp/pia/spst/spst_map01.do))で直接購入
- サークルK・サンクスで直接購入 ○セブン-イレブンで直接購入
- インターネット(<http://t.pia.jp/cinema/>)にて購入
- チケットぴあにて電話予約後(チケットぴあ音声認識予約:0570-02-9999)  
 ぴあのお店、サークルK・サンクス、セブン-イレブンで受け取り

[指定席について]

- 全席指定です。
- 「前方」「中央」「後方」のいずれかを選んでご購入いただけますが、ご希望に添えない場合がございます。
- 上映開始後はお手持ちのチケットの席にご案内できない場合がございます。お時間に余裕を持ってお越しください。

※ 前売券は一般のみ。前売券の電話予約は各上映日の5日前まで、直接購入は各上映日の2日前までとなります。前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

## 第21回PFFスカラシップ作品

### 『恋に至る病』(Pコード: 558-325)

前売券: 1,300円 当日券 一般: 1,500円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,400円  
 小・中学生: 1,100円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 1,250円

## 招待作品部門 (Pコード: 558-326)

前売券: 1,300円 当日券 一般: 1,500円 大学・高校生・シニア(65歳以上): 1,400円  
 小・中学生: 1,100円 障害者・障害者付添者: 500円 キャンパスメンバーズ: 1,250円

## [タル・ペーラに痺れる]『サタンタンゴ』(Pコード: 558-326)

前売券: 2,500円 当日券 一般: 3,000円 大学・高校・シニア(65歳以上): 2,700円  
 小・中学生: 2,200円 障害者・障害者付添者: 1,800円 キャンパスメンバーズ: 2,450円

[当日券について]

- 当日券は、各回1名につき1枚販売いたします。
- 当日券(当日、当該枠のみ有効)は、会場受付にて各回上映30分前から開演時刻まで販売します。
- 開映後の当日券の販売はいたしません(前売券をお持ちの方に限り途中入場可)。
- 当日券の有無は、各上映の前日にフィルムセンターのホームページ  
 (<http://www.momat.go.jp/>)で確認することができます。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は証明できるものをご提示ください。
- 障害者付添者は原則1名まで障害者と同じ料金でご入場いただけます。
- 「ぴあカード」のご提示により、一般の当日料金が割引になります。
- 国立美術館キャンパスメンバーズの方は、学生証・職員証のご提示により当日料金が割引になります。



# INVITED WORKS -- 招待作品部門

日本映画の最新作をご覧くださいとともに、映画の豊潤な歴史に触れていただくため、今ではスクリーンで鑑賞する機会がめったにないモノクロ映画の傑作を上映します。また、日本の映画人の世代交流の機会を作るとともに映画の作り方の具体的方法について学ぶ上映&トークの新企画も登場!

## BLACK and WHITEの誘惑

### 『ルビッチでハッピー!』

観客に想像する愉しみを与えてくれる洗練されたコメディの名手にして、ピリー・ウィルターや小津安二郎も心の師と仰いだ、エルンスト・ルビッチ(1892-1947)。サイレント時代とトーキー時代の名作2本のルビッチ作品で心を軽やかに!



9月20日[火] 12:00—



『陽気な中尉さん』

トーキー  
日本語字幕

1931年 / 61分 / 16mm / 白黒  
出演: モーリス・シュヴァリエ、クローデット・コルベール、ミリアム・ホプキンス

陽気な中尉はバイオリン弾きの女性と恋に落ちるが、隣国の王女に惚れられてしまう。

9月20日[火] 14:00—

ピアノ演奏: 柳下美恵



特別上映

『限りなき舗道』

サイレント

1934年 / 87分 / 35mm / 白黒  
監督: 成瀬巳喜男 出演: 忍 節子、磯野秋雄、山内光

女給の杉子は資産家の息子と結婚するが…。ルビッチの『陽気な中尉さん』がデート場面に登場。



『陽気なバ里っ子』

サイレント  
英語字幕

1926年 / 67分 / 16mm / 白黒  
出演: モンテ・アルレー、バツィィ・ルース・ミラー、リリアン・タッシュマン、ジョージ・ベランジャー、マーナ・ロイ

勘違いから親しくなった2組の夫婦が互いの伴侶を口説きあうが…。

### 『タル・ベーラに痺れる』



9月21日[水] 12:00—

『サタンタンゴ』

日本語字幕

1991~93年 / 438分 / 35mm / 白黒

ハンガリーの鬼才タル・ベーラ監督の代表作。ある寒村に死んだはずの男が帰ってくる。この物語が、さまざまな村人のさまざまな視点を通して繰り返される。

※上映途中休憩あり ※海外から取り寄せるプリントのため、状態が良くない場合がございますことをご了承ください。



Tarr Béla

[1955年、ハンガリー生まれ。94年に発表した『サタンタンゴ』で世界中を驚愕させて以後、『ヴェルクマイスター・ハーモニー』(00年)、『倫敦から来た男』(07年)、『ベルリン 国際映画祭銀熊賞受賞作『トリノの馬』(11年 / 今秋日本公開予定)と、一切の妥協を排した作品づくりに徹している。

## OPENING NIGHT

### 特別プレビュー 石井裕也監督最新作

9月20日[火] 18:00—



『ハラゴコレなんで』

2011年 / 109分 / 35mm / カラー  
出演: 仲里依紗、中村 薫、石橋 凌

仲里依紗演じるヒロインが、妊娠9か月の身で貧乏長屋に引っ越してくる。義理と人情篤く隣人たちに接し、それぞれの次の第一歩への後押しをする。

©2011『ハラゴコレなんで』製作委員会

石井裕也 1983年生まれ、埼玉県出身。これまでの監督作品に『剥き出しにっぼん』(07年)、『川底からこんにちは』(09年)、『あぜ道のダンディ』(11年)などがある。

## CLOSING NIGHT

### 第21回PFFスカラシップ作品お披露目

9月29日[木] 18:30—



『恋に至る病』

2011年 / 116分 / HD / カラー  
監督・脚本: 木村承子 出演: 我妻三輪子、斉藤陽一郎、佐津川愛美、染谷将太

死んでも腐らないよう防腐材入りの物しか摂取しない女子高校生が妄想していた、男性教師との性器交換が現実! 人格の入れ替わりとは異なる究極の恋愛物語、誕生!

PFFパートナーズ(びあ、TBS、IMAGICA)提携作品

木村承子 1986年生まれ、茨城県出身。『PFFアワード2009』にて、処女童貞喪失の通過儀礼を幻想的に描いた『普通の恋』で審査員特別賞を受賞。



9月23日[金・祝] 14:30—

岩井俊二、長谷川和彦に映画を聞く!

「映画監督とは、映画製作とは」

岩井俊二監督が『青春の蹉跌』をテキストに、  
ゴジこと長谷川和彦監督に聞きたいことのありったけを引き出す。

Shunji  
Iwai



Kazuhiko  
Hasegawa

対談ゲストは  
HPにて  
発表します!

岩井俊二 1963年生まれ、宮城県出身。映像作家。近年は活動を国外にも広げ、2010年、『ヴァンパイア』をカナダにて撮影。最新作である小説『番犬は庭を守る』を自身のオフィシャルHP『岩井俊二映画祭』にて近日配信予定。

長谷川和彦 1946年生まれ、広島県出身。これまでの監督作品に『青春の殺人者』(76年)、『太陽を盗んだ男』(79年)、プロデュース作品に石井聰互監督作品『逆噴射家族』(84年)などがある。

『青春の蹉跌』 カラー

1974年/85分/35mm  
監督・神代辰巳 脚本・長谷川和彦  
出演・萩原健一、桃井かおり、檀ふみ  
司法試験合格を目指す青年が、許婚と妊娠した恋人との狭間で苦悩する姿を鮮烈に描写。



『太陽を盗んだ男』 カラー

1979年/147分/35mm  
監督・長谷川和彦 出演・沢田研二、菅原文太、池上季実子、伊藤雄之助  
中学の物理教師が原子力発電所からプルトニウムを強奪して原子力爆弾を製造。突拍子もない要求をして警察を手玉に取る。

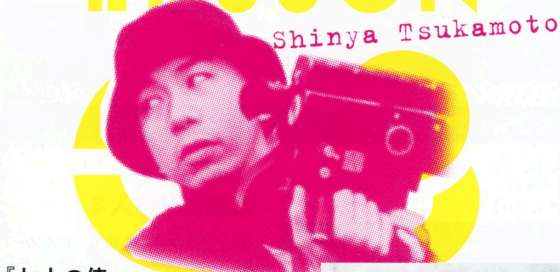


# CINEMA LESSON 映画のレッスン

9月22日[木] 17:30—

塚本晋也、「何がなんでも黒澤明！」

塚本晋也監督が、『七人の侍』をテキストに、  
黒澤明への敬愛を語り尽くす。



『七人の侍』

1954年/206分/35mm/白黒  
監督・黒澤明 出演・三船敏郎、志村喬、宮口精二、木村功

貧しい農村の民が、野盗の襲撃から村を守るため侍7人を雇う。黒澤映画の最高峰。世界中の映画人に影響を与えた。



塚本晋也 1960年生まれ、東京都出身。これまでの監督作品に『鉄男』(89年)、『六月の蛇』(03年)、『悪夢探偵』(07年)、『鉄男 THE BULLET MAN』(10年)などがある。最新作は『KOTOKO』(ヴェネチア国際映画祭、トロント国際映画祭にて正式上映)。

9月24日[土] 18:00—

黒沢清、廣原暁に個人レッスンする!

「映画に風景をどう撮るか」

黒沢清監督が、青山真治監督作品『シェイディー・グローヴ』を  
テキストに、映画と風景について伝授。

Kiyoshi  
Kurosawa



Satoru  
Hirohara



『シェイディー・グローヴ』

1999年/99分/35mm/カラー 英語字幕付き  
監督・青山真治 出演・栗田 麗、ARATA、関口知宏、光石 研、斉藤陽一郎

失恋して心のバランスを見失った女と無職になったばかりの男が、「陰のある森」に辿りつくまでの心の冒険を描く。



黒沢 清 1955年生まれ、兵庫県出身。これまでの監督作品に『神田川淫乱戦争』(83年)、『CURE』(97年)、『トウキョウソナタ』(08年)などがある。

廣原 暁 1986年生まれ、東京都出身。武蔵野美術大学造形学部映像学科の卒業制作『世界グッドモーニング!!』が「PFFアワード2010」に入選。

付帯企画 「カルトブランシュ〜期待の映画人・文化人が選ぶ日本映画〜」 東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール

第1回 9月17日[土] 15:30—

〜ロード“サイド”ムービー〜  
『さらば愛しき大地』 柳町光男監督

(1982年/134分/35mm/カラー)  
富田克也監督(『国道20号線』『サウダージ』他)と  
城繁幸氏(人事コンサルタント、作家)が  
セレクト&対談解説

第2回 9月24日[土] 15:00—

〜男と女〜  
『生きてうちが花なのよ  
死んだらそれまでよ党宣言』 森崎東監督

(1985年/105分/35mm/カラー)  
河瀬直美監督(『裸の森』『朱花の月』他)が  
セレクト&解説 聞き手: 木下雄介監督(『水の花』他)

第3回 10月1日[土] 15:30—

〜インターナショナルライズされ続ける  
日本の未来を綴る、プロフェティック・ムービー〜  
『スワロウテイル』 岩井俊二監督

(1996年/148分/35mm/カラー)  
VERBAL氏(DJ、音楽プロデューサー)が  
セレクト&解説 聞き手: 窪田泰監督(『イェスタイズ』他)

前売参加料: 800円(コード:558-346)  
当日参加料 一般:1000円  
小・中・高・大学生、  
障害者(付添者は原則1名まで):500円  
7月27日(土)チケットびあにて発売開始  
主催:東京国立近代美術館フィルムセンター、  
エイベックス・ミュージック・パブリッシング株式会社、  
あび株式会社 企画協力:REAL WAVE